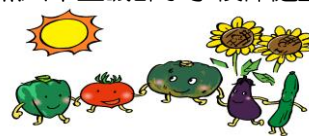


# ほけんだより

平成28年8月30日  
糸魚川市立磯部小学校保健室



2学期が始まり、数日が経ちました。これまでに欠席や保健室で休む児童はなく、給食を残さずもりもりと食べています。保護者の皆さまにおかれましては、熱中症対策のため、水筒等をご用意いただきましてありがとうございます。

今のところ、残暑の厳しい日があったり、雨風が強くと、気温が急に下がる日があったりと、体調を崩しやすい気候です。体調管理に努めてください。

## 感染症にご注意ください！

近隣の市や糸魚川市内で感染症の発生報告がありました。下記のようなことにご注意いただき、お子さんの体調に変化が見られましたら、早めの受診をお願いいたします。

### ◆「RSウイルス感染症」の集団発生報告がありました。

RSウイルス感染症とは… 感染後4～6日の潜伏期ののち、発熱、鼻水、せきなどのかぜ様症状が現われます。 **主な症状；発熱 鼻水 せき**

発生状況；糸魚川市立糸魚川東保育園で、8月19日頃から発熱、せきなどの症状が出始め、8月29日現在、在籍園児124人中10人が発症しています。

### ◆ヘルパンギーナに注意しましょう。 **【警報発令中】**

ヘルパンギーナとは… 夏かぜの一種で、子どもを中心に流行します。2～4日の潜伏期ののち、突然の高熱で発症します。のどの痛みと、のどの奥辺りに多数の水ぶくれのような発疹ができます。

**主な症状；発熱 口の中にあらわれる水疱 のどの痛み**

発生状況；平成28年第33週（8月15日～8月21日）において、定点当たり報告数は3.71人です。さらに、上越は7.83と、国の示す警報基準（定点当たり報告数6.00人）を上回っています。

### ◆流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）の流行

流行性耳下腺炎とは… 2～3週間の潜伏期ののち発症し、片側あるいは両側の耳の下やほほが、腫れて痛みます。 **主な症状；耳下腺の腫れ 発熱**

予後は一般に良好なので軽く見られがちですが、無菌性髄膜炎、感音性難聴、精巣炎・卵巣炎など、種々の合併症を起こすことがあります。

発生状況；流行性耳下腺炎は、4年から5年ごとに流行を繰り返しています。現在、県内の定点あたり患者数が増加傾向にあり、2011年の流行から5年を経過していることから、今後の流行が危ぶまれます。上越地域でも患者数が増加傾向にあります。

### 【予防対策】

○うがい・手洗い、せきエチケット

○タオルを共有することは避ける

○罹患したと思われる場合は、早めに医療機関を受診する。